

高山もりのエコハウス 第2回技術研修会 記 録

■日 時：平成22年1月13日（水）9：30～11：30

■場 所：高山市丹生川支所 2-4会議室

■出席者：別紙「技術研修会出席者名簿」を参照

■次 第：

1. 開会・挨拶
2. 講義 「エコハウスの評価」
講師 辻 充孝氏
岐阜県立森林文化アカデミー講師
3. 閉会



■講義概要：

【性能評価の整理】

- ・住宅性能の評価は、省エネ基準や住宅性能表示、CASBEE（戸建て）などがあるが、最新情報の入手と活用が重要。
- ・これからの住宅設計は、総合デザイン+ α が重要であり、設計者等が住宅性能を評価できることはその前提条件の一つである（受講者のうち、Q値・ μ 値の計算経験者は2～3名、CASBEE評価経験者は1名）。



【CASBEE（建築環境総合性能評価システム）】

- ・質の高い生活を省エネ・省資源で実現するためにつくられた評価基準であり、設計者等にとって幅広い視点から設計作業ができることから、是非、今後の設計作業等に活用が望まれる。
- ・CASBEEは、建物をみるひとつの目安であり、評価対象になっていない意匠性やコストなどを含めた建物全体のバランスであり、合わせて住み手の生活スタイルも踏まえ、新たな提案も行いつつ、住まい手にとって最もよい家を計画することが重要。

【住宅事業建築主の判断基準】

- ・当該基準は、年間150戸以上の住宅を供給する事業者には義務づけられる。
- ・同基準は、STEP1～3を通じて算出されるが、予め準備すべき情報にも留意し、早見表も活用しつつ必要な補正を加え、環境家計簿の実績値との比較で住まい方を評価、活用ができる。
- ・家電評価ツールの計算表を入手希望する場合は、辻氏まで連絡のこと。

【まとめ】

- ・設計者が建物等の環境性能を評価できることは、今後の住まいづくりの必須要件となる。